

2023 年度事業報告書

2024 年 6 月 26 日

特定非営利活動法人 地球環境市民会議

I. 事業期間

2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日

II 事業の成果

1 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

1. 1 地域や地球規模の環境問題に関する情報の収集および情報の提供

(計 画)

①気候危機問題、エネルギー問題、プラスチック問題についての情報、脱炭素化社会に向けての海外・国内の動き自治体の動きについて、市民にとって必要な情報を収集し、必要に応じて情報発信を行います。また、CAN- Japan や若者の動きについても情報収集・情報交換を行っていきます。

(結果及び評価)

- ・環境問題・エネルギー問題などの他団体等が実施するセミナーへ積極的に参加し、情報を収集しました。
- ・環境問題に関する情報提供は主にイベント・学習会や CASA レター、E-mail ニュースを通じて行いました。意見や提言については、以下のとおりです。

2023 年 4 月	G7 札幌気候・エネルギー・環境大臣会合および広島サミットに向けた共同声明
2023 年 4 月	GX 脱炭素電源法案に関する要望書 (9 団体) を国会議員に送付
2023 年 4 月	【NGO 共同声明】「石炭火力発電のバイオマス混焼および専焼化はグリーンウォッシュ気候変動を加速させ森林生態系を破壊する」への賛同
2023 年 10 月	水銀に関する水俣条約第 5 回締約国会議 (COP5) における蛍光灯廃止の賛同署名
2023 年 12 月	COP28 に向けたポジションペーパー「NDC の大幅な引き上げを！」の公表 COP28・CMP18・CMA5 CASA 声明「1.5℃への道は急速に狭まりつつあり、直ちに行動を！」
2024 年 1 月	水素・アンモニア政策小委員会/脱炭素燃料政策小委員会/水素保安小委員会中間とりまとめ (案) に対する意見を提出
2024 年 1 月	中間取りまとめ (案) CCS に係る制度的措置の在り方についてに対する意見を提出
2024 年 3 月	「ワタシのミライ」エネ基への提言書への賛同 持続可能な再エネ 100%と公正な社会を実現する気候・エネルギー政策を求めます

- ・パブコメの提出にあたり、会員にパブコメの提出を呼び掛けるとともに、時間的に可能な範囲で、会員・理事から事前にご意見を募り、それを踏まえパブコメ原案を作成し、理事会に諮るようにしていきたくていましたが、今回のパブコメの募集は、COP28 の派遣期間であり、年末・年始をまたいでいたこともあり、会員への告知や理事の方のご意見を伺う時間が十分にとれませんでした。

CAN-Japan やワタシのミライ、おおさか環境ネットワークの会議に参加し、情報収集や情報交換を行うとと

もに、提起された活動に参加しました。

- ・若者(FFF)への支援については、FFF 大阪のミーティングに参加するとともにイベントを通じて参加を呼びかけました。また若者の団体への訪問や若者の参加するイベントに参加するなど、情報の収集と提供を行いました。また成果としてはあらわれていません。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 0 円

(支出)

1.2 地域や地球規模の環境問題に関する調査及び研究

(計画)

- ①自治体における温暖化対策に関わる連携にあたり、地域の各主体の取り組みや政策における課題や、より有効な対策のあり方等について、地域の人々とともに必要な調査や研究、情報提供を行っていきます。
- ②プラスチックごみの削減について、具体的な削減に向けての取組についての調査と情報収集を行います。
- ③CC 研の取り組みとして、2035 年の排出削減の可能性を CASA モデルで検討することや地域での脱炭素の可能性について調査・研究を実施します。

(結果及び評価)

- ・島本町では、学習会での講師や水力発電の実地調査、今後の活動に向けての情報提供、町の職員との情報交換など、再生可能エネルギーの導入に向けての準備に関わることができました。高槻市では市民の方との情報交換を行うとともに、太陽光発電設置についての条例のパブコメ学習会に参加しました。みなさん、仕事をしながらの活動で活動時間が限られていますが、地域内で活動される方を増やし、脱炭素に向けての取り組みが進むよう情報提供など支援を今後も続けていきたいと思えます。また、市民の声を活かした政策作りのための気候市民会議の実施についての調査(関連イベントへの参加)を行いました。
- ・プラごみについては、生協での「スポごみ」の実施に向けて、調査を行いました。
- ・全国的に問題となっている有機フッ素化合物(PFAS)による河川・地下水の汚染について、活動をするため「大阪 PFAS 汚染と健康を考える会」に入会しました。
- ・CC 研として、2035 年の排出削減の可能性を CASA モデルで検討することは実施できませんでしたが、2024 年度以降の地域での支援の活動の方向性について検討しました。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 16,670 円

(支出) 12,689 円

1.3 海外 NGO との情報交換、交流、及び国際会議への参加

(計 画)

①気候変動問題の国際会議に代表を派遣し、気候行動ネットワーク(CAN)や CAN-Japan と連携して活動します

(結果及び評価)

・SB58(気候変動枠組条約第 58 回補助機関会合)は国内から会議をフォローしました。COP28(国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議)には、代表を派遣し、展示ブースを出展するとともに、国内外の環境 NGO と連携した活動を行いました。会議の様態や成果、評価は「通信」、ちきゅう Café、CASA レターを通じて情報提供を行いました。現地から「通信」「声明」を発信しました。帰国後は CAN-Japan 主催で、「COP28 報告会」を開催しました。



COP28 化石賞の受賞

・大阪府温暖化防止活動推進センター、大阪から公害をなくす会、大阪自然環境保全協会より寄稿の依頼があり、各団体発行の情報誌に COP28 の報告が掲載されました。

また、公害環境デー実行委、豊中市民エネルギーの会、アジェンダ 21 すいた、いずみ市民生協、会員の方から COP28 の報告の依頼があり、講師として報告を行いました。

・気候ネットワークと共催で「気候危機—パリ協定の「1.5℃目標」を失わないために。COP27 から G7、そして COP28 へ」を開催し、G7 に向けた共同声明も発表しました。

・CAN、CAN-Japan からの呼びかけに対応し、賛同表明や、署名、活動への参加など積極的に連携活動を行いました。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 6 月、11~1 月

(事業の対象者) 世界の NGO、政府関係者、市民

(収 入) 82,000 円

(支 出) 2,930,747 円

1.4 市民講座、研究会、及びシンポジウムなどの開催

(計 画)

①市民講座、プラごみ学習会、COP 報告会、ちきゅう Café は継続して開催します。

②参加者同士の交流についても検討をします。

③時々の国内外の情勢に合わせたセミナーや学習会を開催します。

④議員研修会を開催します。

⑤生協等と連携し、創エネ・省エネ、プラゴミ問題等の学習会等を開催します。

⑥地域や他団体や学校関係からの要請にこたえ、講師の派遣や出前授業・学習会を実施します。そのためにもスタッフはセミナー等に参加し情報収集や学習を行います。

⑦省エネチャレンジは、省エネ効果についての見直しと住宅についての情報提供を行います。また、他地域の良い事例を取り入れるとともに、情勢に応じて内容を検討していきます。参加者の増加もはかります。

(結果及び評価)

- ・2023 年度に実施したセミナー・学習会の実施状況は下の表のとおりです。
- ・プラごみ学習会以外は、約 70%は会員で、ほとんどがEメールニュースを見ての申込でした。脱炭素社会の実現に向けての世界の情勢やエネルギー政策などの国の政策問題に関わるテーマについての関心が高く、参加者も多くなっています。
- ・一方、温暖化問題などについて、あまり関心のない方などの参加を上げようということで開催した「異常気象と温暖化」や「エネルギー価格の動向」など、より身近な問題についての学習会は参加が伸びませんでした。今後は、メールニュース以外のSNSでの広報や他団体への働きかけも強化していく必要があると思います。



第3回地球環境市民講座

企画名	開催日	参加者		
		計画	申込	実績
第30回地球環境市民講座 石炭火力・原発依存で脱炭素社会は実現できるのか				
第1回 脱炭素への世界と日本の動き	6月10日	40	50	35
第2回 原発政策は温暖化対策に有効か？	6月24日	40	44	24
第3回 遅れる日本の再エネ導入と地域での再エネ	7月15日	40	63	34
第4回 脱化石に逆行する水素・アンモニアの活用	7月29日	40	51	40
		160	208	133
アメリカのエネルギー脱炭素化対策最前線	8月4日	20	18	15
3制度学習会～個人情報保護法、インボイス制度、電子帳簿保存法	8月9日	40	26	19
最近の異常気象と地球温暖化	11月25日	40	30	26
プラスチックごみを考える学習会 第10回「神戸市のプラごみ対策」	12月12日		57	48
脱化石社会への第1歩～COP28の成果と課題～	1月13日	60	80	66
高規バイオチャーエネルギー研究所 施設見学会	1月20日	20	17	14
エネルギー価格の動向と再エネへの転換の可能性	2月17日	40	33	20
第22回 ちきゅうCafé COP28ってどんな会議だったのか？	1月31日	20	8	3
第23回 ちきゅうCafé 福島第一原発事故から13年	3月26日	20	13	12
自治体議員・職員研修会 脱炭素社会の実現にむけて 自治体の取り組み				
第1回 脱炭素社会の実現にむけて自治体でできること	10月27日	30	22	17
第2回 再生可能エネルギーの導入を自治体でどう実現するか	11月14日	30	21	15
おおさかパルコープ 未来のためのCO2ゼロアクション	1月19日			83
いずみ市民生協 家庭でできる省エネ・創エネ学習会	2月20日		8	5
よどがわ市民生協 家庭でできる省エネ・創エネ学習会	3月14日		5	5

- ・ちきゅう Café は、1月は若者対象のイベントとし、FFF 大阪の仲間が増えるよう取り組みましたが、参加者が少なく、FFF の仲間の拡大にはつながりませんでした。3 月は参加者同士の交流もできるよう会場参加とオンライン参加で開催しましたが、参加者全員がオンライン参加となりました。
- ・議員研修会を 10 月 11 月に実施しましたが、参加者は計画を下回りました。参加された方の意見も聞きながら、来年度の実施の在り方について検討を進めます。
- ・生協との連携の企画では、プラごみの学習会では、参加の幅が広がっています。省エネ学習会はパルコープでは多くの方の参加がありましたが、他の生協では全組合員配布のチラシでの募集を行っていますが参加者が伸びていません。重要な取り組み課題なので、生協と相談を進めながら参加者を増やす工夫をしていきたいと思っています。



夏休みお助け隊



水都おおさか森林の市



ECO 縁日

- ・エコネット近畿、きんき環境館とも連携し、脱炭素社会実現のためのイベントに出展・参加しています。大阪府下での気候市民会議の開催に向けて、情報交換・情報共有・学習の場を持って、準備活動を進めています。
- ・ひのでやエコライフ研究所より、環境家計簿システム「エコライフノート」の更新についての検討の要請があり、システムの改定について議論を行いました。
- ・出展以外のイベントのほとんどがオンライン参加となり、参加者間の交流の場がほとんどありませんでした。次年度の開催もオンライン中心の開催となりますが、企画によっては、会場参加を重視したり、交流ができるイベント等も検討していきたいと思えます。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 953,572 円

(支出) 1,046,011 円

1.5 ニュース並びに資料などの発行

(計画)

- ①CASA レターの発行を4回、メールニュースの発行を随時行います。
- ②ウェブサイトの改訂を行い、情報提供を強化します(6月中)。
- ③IPCC 第6次評価報告書第2・第3作業部会報告書・統合報告書パンフを作成します(上期)。
- ④温暖化資料集の改訂に着手します(下期)。CDとWEBによる販売とし、WEB販売方法を調査し 確定します。
- ⑤省エネパンフ「未来のための CO₂ ゼロアクション」を活用します。

(結果及び評価)

- ・CASA レターやメールニュースの発行は予定通り実施しました。メールニュースの発行は 63 回で、うちイベント以外の情報提供は 15 回にとどまり、昨年とほぼ同じとなりました。次年度は情報提供の強化をはかります。メールニュースの新規配信登録は 66 名ありました。
- ・WEB サイトの改訂は、6 月に行いました。イベント等の案内は継続してアップデートを行っていますが、当初の改訂目的はまだ達成できていません。引き続き改訂作業を進めます。
- ・2023 年度の重点課題であった IPCC 第6次評価報告書第2・第3作業部会報告書・統合報告書パンフの作成と温暖化資料集の改訂は着手できませんでした。
- ・省エネパンフはホームページにアップをするとともに、省エネ学習会等で案内、活用しています。



(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 2,000 円

(支出) 1,514,101 円

1.6 環境に関連する物品の販売

(計画)

ウェブを通しての物品・サービスの販売を検討するとしていましたが、今年度は改訂したウェブの維持をはかることを重点とすること、他の重点課題(温暖化資料集の改訂、IPCC パンプの作成)もあるため、検討を中断します。

(結果及び評価)

・CASA の収支を支えるため、収入の増加をはかるための手段のひとつとして、物品の販売は有効であると考えています。2024 年度は検討を再開します。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 0 円

(支出) 0 円

1.7 再生可能エネルギー利用の普及及び推進

(計画)

①鹿児島県南さつま市大浦の風力発電所の設置に向けて協力します。

②地域での再エネの普及について支援を行います。

(結果及び評価)

・PARE と連携し、設置準備に協力しています。猛禽類や渡り鳥、希少植物、コウモリについての調査等も終了しました。設置に向けて、提携事業者と最終的な調整確認を行っています。

・島本町では、2024 年度に太陽光発電の設置のための組織を結成することとし、そのための準備をすすめています。学習会での講師、講師の紹介、水力発電所の見学、24 年度の学習計画などについて支援を行っています。

・高槻市と茨木市では、条例案や温暖化対策についての学習会に参加し、情報提供を行いました。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 0 円

(支出) 0 円

1.8 その他目的を達成するために必要な事業

(計 画)

- ①補助金や助成金団体の調査を行い、補助金・助成金獲得の申請を行います。
- ②PARE との連携をはかり、活動を進めます。
- ③ SOMPO 環境財団の「CSO ラーニング制度」を通じて、インターン生の受け入れを行います。

(結果及び評価)

- ・温暖化問題の啓発活動にあった新たな助成金は見つけることはできていませんが、地球環境基金が2年間採択されなかった反省を踏まえ、成果物を明確にした申請書を作成し、提出しましたが、残念ながら採択はされませんでした。
- ・例年通り、2名のインターン生を受け入れました。本人の自主活動を重点に活動を行いましたが、来年度以降は、CASA の活動についての補助や作業を中心に組み立てたいと考えています。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収 入) 0 円

(支 出) 0 円

2. 組織活動

(計 画)

- ①企画やイベントを通じて会員の加入の呼びかけを行います。
- ②会費・寄付のカード決済・コンビニ支払いなど手続きの簡素化について検討します。
- ③新型コロナウイルス感染に配慮しながら、事務所の運営を行います。テレワーク、オンラインでの会議を継続します。
- ④引き続きウェブサイトやメールなどを活用し、郵送費や印刷費などのコストの削減をはかります。
- ⑤企画運営委を継続して開催し、CASA の企画等について検討を進めるとともに、理事会の機能強化をはかります。
- ⑥個人情報保護法と電子帳簿保存法に対応した個人情報・データの管理を進めます。
- ⑦課題の進捗状況の確認を事務局会議で進めます。
- ⑧認定 NPO 法人の更新手続きを進めます

(結果及び評価)

- ・セミナー・イベントでの参加のほとんどがオンライン参加で、加入の呼びかけも実質的にはほとんどできませんでしたが、人のつながりやイベント参加のメリットにより、8名の加入がありました。
- しかし、高齢等による活動を終わられる方が多く、会員は減少となりました。団体は経費の見直しによる退会がありました。

	会員総数	正会員			賛助会員	
		個人	団体	学生会員	個人	団体
期首	281	234	35	0	12	0

期末	275	227	33	0	15	0
増減	△ 6	△7	△2	0	3	0
加入	8	5	0	0	3	0
退会	△ 14	△12	△ 2	0	0	0

- ・ペーパーレス化の取り組みを継続して進めています。現在 CASA レターは 167 名(18 名増加)、総会資料は 116 名(11 名増加)の方にペーパーレス化のご協力をいただいています。
- ・2024 年度以降の会費や寄付の減少に対応するため、収入の増加と経費の削減の検討会議を開催し、方向性や対策を検討しました。
- ・企画・運営委員会を2か月に一度、6 回開催し、イベントの検討や総括、CASA の活動の在り方等の議論を行いました。
- ・理事会、企画・運営委員会は、オンライン開催がほとんどで理事や委員間の交流の場がほとんど持っていません。来年度は会場参加も呼びかけ、交流の場も持つように進めていきたいと思ひます。
- ・電子帳簿保存法の改訂に対応したルールを作り実践しています。
- ・認定NPO法人の更新について、早期から準備を行い、更新の審査を受け、更新することができました。

3. 総会の開催状況

3.1 第23期通常総会

(日時)2023 年6月 10 日(土)10 時 30 分～11 時 35 分

(場所)大阪産業創造館6階会議室 D、WEB

(会員総数)261 名

(出席者数) 78 名(うち委任状出席者 22 名、書面議決者 33 名)

(内容) 第1号議案 第23期(2022年度)事業、中期活動計画まとめ承認の件

第2号議案 第23期(2022年度)活動決算承認と監査報告の件

第3号議案 第24期(2023年度)事業計画案承認の件

第4号議案 第24期(2023年度)活動予算案承認の件

第5号議案 理事・監事選任の件

4. 理事会の開催状況

4.1 第1回理事会

(日時)2023 年6月 10 日(土) 11 時 35 分～11 時 45 分

(場所)大阪産業創造館6階会議室 D、WEB

(出席理事)16 名(会場6名、WEB8名、書面決議1名、委任状1名)

(出席監事) 0 名

(議長)早川専務理事

(議案)

【協議事項】

1. 代表理事の選任について

4.2 第2回理事会

(日時)2023年7月18日(火)18:30~20:25

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)14名(会場2名、WEB7名、書面決議1名、委任状4名)

(出席監事)0名

(議長)早川専務理事

(議案)

【協議事項】

1. 情勢について
2. 9/18 気候アクションの取り組みについて
3. 今後の活動について
4. 組織・財政について

【報告事項】

1. 通常総会開催報告
2. 7月以降の体制変更尾
3. 第30回地球環境市民講座開催概要報告
4. 2023年度国際交渉報告
5. ホームページの改訂報告
6. インターン生の受け入れ
7. この間の活動報告
8. PARE 活動報告
9. その他

4.3 第3回理事会

(日時)2023年9月21日(木) 18:30~20:27

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)15名(会場2名、WEB11名、書面決議1名、委任状1名)

(出席監事)1名(WEB1名)

(議長)早川専務理事

(議案)

【協議事項】

1. 情勢について
2. 下期の企画について
3. 議員研修会について
4. 2023年度国際交渉について
5. 今後の取り組みについて
6. 組織・財政について

【報告事項】

1. 第30回地球環境市民講座開催概要報告
2. アメリカのエネルギー炭素化対策最前線セミナー報告
3. 3制度学習会
4. 9.18 温暖化止めようワタシのミライ
5. 高槻市・島本町での取り組み報告
6. 第6回企画運営委員会報告
7. この間の活動報告
8. PARE 活動報告
9. その他

4.4 第4回理事会

(日時)2023年11月20日(月) 16:00~18:00

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)13名(会場2名、WEB10名、委任1名)

(出席監事)0名

(議長)早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について 2. 下期の企画について 3. CASA レターについて
4. 2023 年度国際交渉・CAN-Japan との連携について 5. 今後の取り組みについて
6. 組織・財政について

【報告事項】

1. 議員研修会開催報告 2. イベント開催報告 3. 生協での取り組み
4. ワタシのミライ・大阪の今後の取り組み 5. この間の取り組み報告 6. PARE 活動報告
7. その他

4.5 第5回理事会

(日時)2024 年1月 22 日(月) 16:00～18:05

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)16 名(会場2名、WEB11 名、書面決議1名、委任状2名)

(出席監事) 1名(WEB1名)

(議長)早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について 2. COP28 報告(2023 年度国際交渉)3. 2024 年度地球環境市民講座について 4. 経費の削減に向けて 5. 「ワタシのミライ」エネ基への提言書への賛同について
6. 今後の取り組みについて 7. 組織・財政について

【報告事項】

1. 議員研修会開催報告 2. 最近の異常気象と地球温暖化学習会報告 3. 脱化石社会への第一歩～COP28 の成果と課題～報告 4. パブコメの提出 5. 地球環境基金の申請
6. この間の取り組み報告 7. 電子帳簿保存法への対応 8. PARE 活動報告 9. その他

4.6 第6回理事会

(日時)2024 年3月 22 日(月) 16:00～18:05

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)16 名(会場2名、WEB11 名、書面決議2名、委任状1名)

(出席監事)0名

(議長)早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について 2. 2024 年度第 31 回地球環境市民講座について 3. 総会議案書について
4. 2023 年度見通しと 2024 年度予算案について 5. 第 24 期通常総会について
6. レター購読の取り扱いの停止について 7. 寄付の取り扱いについて(遺贈寄付)
8. 「ワタシのミライ」エネ基への提言書への賛同について(再)9. JCI カーボンプライシング提言への賛同について 10. 組織・財政について

【報告事項】

1. エネルギー価格の動向と再エネの導入の可能性開催報告 2. ちきゅう Café 3. 生協での省エネ学習会開催報告 4. 島本町・高槻市の取り組み 5. ワタシのミライの取り組み

6. この間の取り組み報告 7. 認定 NPO 更新報告 8. PARE 活動報告 9. その他

4.7 第7回理事会

(日時)2024年4月18日(木) 16:00~17:45

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)17名(会場2名、WEB9名、書面決議1名、委任状5名)

(出席監事)2名

(議長)早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 2024年度第31回地球環境市民講座について
3. 総会と総会議案書第2次案について
4. 2023年度見通しと2024年度予算案について
5. 2024年度の企画について
6. 会員の会費未納による退会手続きについて
7. 今後の取り組みについて
8. 組織・財政について

【報告事項】

1. ちきゅう Café 開催報告
2. 議員研修会について
3. 企画・運営委員会報告
4. CSO ラーニング制度でのインターン生の受け入れ
5. この間の取り組み
6. PARE 活動報告
7. その他

4.8 第8回理事会

(日時)2024年5月15日(水) 13:30~15:15

(場所)CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事)14名(会場2名、WEB5名、書面決議1名、委任状6名)

(出席監事)1名(WEB1名)

(議長)米田理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 2024年度第31回地球環境市民講座について
3. 総会議案書について
4. 2023年度決算と2024年度予算案について
5. 総会について
6. 総会招集通知、出席確認・書面決議・委任状について
7. 2024年度の理事会の開催について
8. 「今こそ、まっとうな日本の気候政策を創ろう」キャンペーンへの賛同について
9. 今後の取り組みについて

【報告事項】

1. この間の取り組み
2. PARE 活動報告